



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 株式会社トーアミ 上場取引所 東  
 コード番号 5973 URL <http://www.toami.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北川芳仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 古田貴久 TEL 072-876-1121  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,294	17.9	36	△46.2	47	△51.9	△22	ー
2022年3月期第1四半期	2,793	△4.8	68	18.6	98	40.8	66	62.5

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 16百万円 (△64.4%) 2022年3月期第1四半期 45百万円 (△13.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△3.69	ー
2022年3月期第1四半期	10.72	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	17,022	10,951	64.0
2022年3月期	15,867	10,960	69.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 10,889百万円 2022年3月期 10,960百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	7.50	ー	7.50	15.00
2023年3月期	ー				
2023年3月期(予想)		7.50	ー	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,290	24.7	90	115.8	120	△9.9	20	△71.3	3.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	6,400,000株	2022年3月期	6,400,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	252,451株	2022年3月期	152,451株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	6,204,692株	2022年3月期1Q	6,226,049株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ワクチン接種の浸透を背景に新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に伴い各種制限が解除され、社会経済活動は正常化へと向かい概ね回復基調で推移いたしました。

一方、ロシアによるウクライナへの侵攻を契機とした原油をはじめとする資源価格の暴騰、急激な円安の進行による輸入原材料価格の続騰など物価上昇傾向が拡大する中、インフレ対策としての先進主要国中央銀行による大幅な金利引き上げや米国景気後退懸念の台頭など、景気の先行きは更に不透明な状況となっております。

当社グループの主な事業分野である建設・土木業界におきましては、政府建設投資は堅調に推移し、民間建設投資は、戸建住宅を中心に増加するなど、業界全体の需要動向は緩やかながらも改善の動きがでており、鉄骨造・鉄筋コンクリート造の建造物の着工床面積も対前年度比では増加に転じたものの、建築資材の価格上昇による受注環境の悪化や、一部で工期遅延や計画延期が発生するなど、当社グループを取り巻く市場環境は厳しい状況が続いております。

このような環境において、当社グループは、2021年4月1日からスタートした3か年を対象期間とする中期経営計画も2年目に入り、「安定から成長へ」をスローガンに、新市場開拓、設備投資による効率化等、強靱な事業基盤を築くことを基本方針とし、着実にこれらの重点施策に取り組んでおります。

この結果、厳しい受注競争と物件の納期先延ばし等もありましたが、販売価格が上昇したことにより、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、32億94百万円（前年同四半期比 17.9%増）となりました。

損益面におきましては、材料価格の高止まり等による原価率上昇が響き、営業利益は36百万円（前年同四半期比 46.2%減）、経常利益は47百万円（前年同四半期比 51.9%減）となりました。持分法適用関連会社であった株式会社渡部建設を連結子会社化し、段階取得に係る差損44百万円を特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は22百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益66百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が170億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億55百万円増加しました。主な要因としましては、電子記録債権が1億21百万円、完成工事未収入金が3億47百万円、商品及び製品が1億16百万円、原材料及び貯蔵品が1億12百万円、機械装置及び運搬具が1億46百万円、建設仮勘定が3億86百万円、のれんが1億95百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が3億54百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、60億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億63百万円増加しました。主な要因としましては、支払手形及び買掛金が1億8百万円、工事未払金が1億71百万円、短期借入金が6億円、リース債務が50百万円、その他流動負債が1億37百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、109億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少しました。これにより、自己資本比率は64.0%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月11日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,635,679	1,281,311
受取手形及び売掛金	2,963,789	2,993,406
完成工事未収入金	—	347,545
電子記録債権	1,151,993	1,273,400
商品及び製品	727,127	844,095
仕掛品	450,867	507,566
未成工事支出金	—	42,746
原材料及び貯蔵品	2,085,367	2,197,702
その他	105,812	74,682
貸倒引当金	△1,802	△3,419
流動資産合計	9,118,835	9,559,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	703,565	767,543
機械装置及び運搬具(純額)	662,153	809,084
土地	3,688,784	3,745,540
建設仮勘定	550,179	936,449
その他(純額)	12,009	13,435
有形固定資産合計	5,616,692	6,272,052
無形固定資産		
のれん	—	195,013
その他	27,316	25,252
無形固定資産合計	27,316	220,265
投資その他の資産		
投資有価証券	774,644	600,358
関係会社長期貸付金	41,523	45,219
退職給付に係る資産	247,674	249,638
その他	88,554	127,449
貸倒引当金	△47,358	△51,054
投資その他の資産合計	1,105,038	971,611
固定資産合計	6,749,047	7,463,929
資産合計	15,867,883	17,022,968

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,821,888	1,930,336
工事未払金	—	171,382
短期借入金	—	600,000
1年内返済予定の長期借入金	419,976	429,139
リース債務	17,327	26,321
未払法人税等	—	15,442
賞与引当金	89,718	47,411
工事損失引当金	—	9,732
その他	338,252	476,119
流動負債合計	2,687,163	3,705,886
固定負債		
長期借入金	1,481,702	1,487,545
リース債務	85,773	127,463
繰延税金負債	316,356	355,120
役員退職慰労引当金	13,650	63,485
退職給付に係る負債	65,298	74,390
その他	257,930	257,930
固定負債合計	2,220,709	2,365,934
負債合計	4,907,872	6,071,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,800	1,290,800
資本剰余金	1,209,832	1,212,563
利益剰余金	8,400,046	8,330,292
自己株式	△68,978	△110,978
株主資本合計	10,831,700	10,722,677
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	144,683	169,453
繰延ヘッジ損益	1,054	18,397
為替換算調整勘定	△30,029	△33,708
退職給付に係る調整累計額	12,601	13,079
その他の包括利益累計額合計	128,310	167,222
非支配株主持分	—	61,246
純資産合計	10,960,010	10,951,146
負債純資産合計	15,867,883	17,022,968

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,793,538	3,294,604
売上原価	2,247,788	2,756,573
売上総利益	545,749	538,031
販売費及び一般管理費	477,617	501,367
営業利益	68,132	36,663
営業外収益		
受取利息	365	458
受取配当金	6,811	7,452
為替差益	6,722	5,912
貸倒引当金戻入額	7,382	—
受取賃貸料	6,424	6,346
その他	10,060	2,790
営業外収益合計	37,767	22,959
営業外費用		
支払利息	194	1,198
持分法による投資損失	4,597	4,633
貸倒引当金繰入額	—	3,695
その他	3,038	2,965
営業外費用合計	7,830	12,492
経常利益	98,069	47,130
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
段階取得に係る差損	—	44,814
特別損失合計	—	44,814
税金等調整前四半期純利益	98,069	2,316
法人税、住民税及び事業税	10,531	5,245
法人税等調整額	20,765	19,967
法人税等合計	31,296	25,213
四半期純利益又は四半期純損失(△)	66,772	△22,896
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	66,772	△22,896

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	66,772	△22,896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,535	24,770
繰延ヘッジ損益	—	17,342
退職給付に係る調整額	450	478
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,676	△3,679
その他の包括利益合計	△21,761	38,912
四半期包括利益	45,011	16,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,011	16,015
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が42,000千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が110,978千円となっております。